

## 地域に新たな価値を創出する廃棄物処理施設

今年度策定された新廃棄物処理施設整備計画では、「地域に新たな価値を創出する廃棄物処理施設の整備」が重点項目として加えられ、廃棄物エネルギーの活用による地域産業の振興、廃棄物発電ネットワーク化による安定供給、廃棄物処理施設の防災拠点化、循環資源に関わる民間事業者等との連携等をすすめ、地域の課題解決や地域活性化に貢献することとされています。

このような観点から、本セミナーでは今後の廃棄物処理施設のあり方、施設整備の方向性を考え、議論します。幅広い関係者の方々の多数の参加をお待ちしております。

日時：2019(平成31)年1月31日(木)

場所：川崎市産業振興会館 1階大ホール

〔交通〕 JR川崎駅北口より徒歩5分

〔定員〕 250名(事前申込み制)

〔参加申込み〕 学会ホームページ (<http://jsmcwm.or.jp/?p=13636>) から申込みください。

〔参加費〕 事前振込制 現地での現金受付はありません。

(会員) 5,000円、(非会員) 7,000円、(自治体・学生) 3,000円、+ (意見交換会) 4,000円

### 【プログラム】

13:30～13:35 開会挨拶 会長

13:35～14:05 講演1 新廃棄物処理施設整備計画が目指すもの(仮題)  
環境省環境再生・資源循環局適正処理推進課長 名倉良雄

14:05～14:35 講演2 地域への新たな価値創出と施設整備へのアプローチ  
(キーワード：地域エネルギー、官民連携、IoT・AI活用)  
早稲田大学教授 小野田弘士

14:35～15:05 講演3 廃棄物系バイオマスを活用した中小自治体における戦略  
(キーワード：集約処理、部局間・官民連携、地域活性)  
北海道大学教授 石井一英

(休憩15分)

15:20～15:50 講演4 エネルギー利活用による各地域での新たな取組み(仮題)  
(キーワード：地方行政、エネルギー利活用、地域貢献)  
一般財団法人日本環境衛生センター 溝田健一

15:50～16:10 講演5 地域に新たな価値を創出する廃棄物処理施設の展望(仮題)  
(キーワード：多様な付加価値形成、主体間連携、広域連携、事業の持続可能性)  
国立環境研究所センター長 大迫政浩

16:10～16:40 パネルディスカッション 「地域に新たな価値を創出する廃棄物処理施設の展望」  
コーディネーター：大迫政浩、パネリスト：上記講演者

16:40～16:45 閉会挨拶 副会長

17:10～18:40 意見交換会

※プログラムは変更になる場合があります